

市民のたより

2019年8月 No.29

川崎から日本軍「慰安婦」問題の解決を求める市民の会（求める会・川崎）

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東 3-1100-12 かわさき市民活動センター レターケース21

10/5

ドキュメンタリー映画上映会・日本初公開

『まわり道』



川崎でも上映した映画『鬼郷』に、日本軍人役で出演したイ・スンヒョン氏が、今度は監督として映画『まわり道』を完成させました。ナヌムの家（「慰安婦」被害者の方々が共同生活する「わかちあい」の家）で過去20年の間に撮影された映像を編集した『まわり道』は、イ・オクソンさんの人生のストーリーを中心軸に、ナヌムの家のノルモ二達の懐かしい姿が多く登場する作品となりました。イ・オクソンさんは、本作品でナレーションも担当しつつ自らの胸の内を静かに語っています。

日韓関係のこじれの中でのみ語られるようになってしまった日本軍「慰安婦」問題を、被害女性たちへの共感に裏打ちされた平和を志向するための礎にしたいと、イ・スンヒョン監督は言います。いよいよ日本初公開です。

❖ 求める会・川崎 10周年記念 ❖

ドキュメンタリー映画上映会

『まわり道』

～日本軍「慰安婦」とされた
イ・オクソンさんの人生～

日時：10月5日（土）

開会：14時（開場13時半）

ところ：エポックなかはら
大会議室（7階）

資料代 800円

主催：川崎から日本軍「慰安婦」問題
の解決を求める市民の会

連絡先☎：080-3494-2411（木瀬）

イ・オクソンさんの人生

イ・オクソンさんは、1927年 慶尚南道釜山生まれ。父は日雇い、母は下働きで、貧しさのため学校に行くことができませんでした。14歳の時「学校に通える」と言われ、うどん屋の養女になりましたが学校に行かせてもらえず、朝から夜中まで働かされました。主人の言うことを聞かなかったため数か月後に蔚山（ウルサン）の飲み屋に売られました。1942年7月、主人の使いで買い物に行く途中、知らない日本人と韓国人の男に捕まり、トラックの荷台に投